

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (J A S D A Q コード8732)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成23年8月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成23年8月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成22年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	794	775	860	843	1,249	882	855	627	622	584	729	616
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	75,878	71,294	66,193	79,232	137,860	78,141	69,980	63,673	84,155	71,247	91,748	72,162
顧客口座数 (単位：口座)	126,746	130,930	133,213	135,141	137,924	140,592	142,846	145,622	148,898	151,789	154,260	155,852
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	28,234	30,319	26,375	28,316	28,099	32,030	30,419	33,160	33,237	34,136	33,271	37,244

年 月	平成23年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	611	493	863	738	645	643	584	719				
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	71,791	65,614	102,934	106,089	91,504	72,784	70,070	86,385				
顧客口座数 (単位：口座)	157,862	159,773	161,785	163,794	165,636	167,644	169,764	173,298				
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	35,725	36,498	32,152	33,195	34,799	36,317	39,932	38,821				

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
 4. 平成20年6月より外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。
- (4) 外国為替取引預り証拠金 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
6. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、これに伴い発生するトレーディング損益は「営業収益」に含めて表示しております。なお、CFDにおける取引高、顧客口座数及び預り証拠金残高については、現時点では外国為替取引の取引高及び預り証拠金残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。

< 8月次の概況 >

8月の外国為替市場は、米ドル/円については、4日に政府・日銀による円売り介入が実施され77円前後から80円台まで急騰した後、6日には史上初となる米国債格下げ、更には米FOMCによる低金利据え置きを発表等により76円台まで円高が進行する等、上旬は高い変動率での推移となりました。その後は一転、介入警戒感等から狭いレンジでの推移となり、19日には一時76円割れの史上最安値をつける場面も見られましたが、変動率が著しく低下した結果、月を通じての変動率は前月とほぼ同水準となりました。また、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、米国債の格下げに端を発した世界的株安や欧州債務問題への警戒感等から変動率が高まる場面もみられ、主要な通貨ペアの変動率は概ね前月を若干上回る水準となりました。

その結果、外国為替取引高は、変動率は前月を若干上回る程度の水準であったものの営業日数が23日と通常の月より多かったこともあり、前月比約23%増の86,385百万通貨単位となり、営業収益は719百万円となりました。一方、顧客基盤については、顧客口座数は円高の進行に伴う外国為替証拠金取引への注目の高まりや当社グループサービスの各種メディアへの露出増加等から大幅に増加し、前月比3,534口座増の173,298口座となりました。また、外国為替取引預り証拠金は、前月まで増加していた顧客の主要外貨のロングポジション（買建の建玉）が減少に転じたこと等により、前月比1,110百万円減の38,821百万円となりました。

なお、当社グループは、8月22日より金と銀を原資産とする差金決済取引（CFD）の取扱いを開始いたしました。これに伴い発生するトレーディング損益は「営業収益」に含めて表示しております。

以 上